

4 わたしたちにできることってなんだろう

(5) 地球温暖化による影響を考え、行動するために

ア アカウミガメをわたしたちが守る

地球温暖化が進み、北極や南極の氷や雪が減ることで、ホッキョクグマなどの生きもののすみかが減っています。また、海水の温度が高くなることで、サンゴが白化し、死んでしまうなど影響が出ています。

福岡県内でも上陸が確認されているアカウミガメは、絶めつが心配されています。

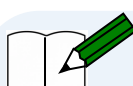
アカウミガメは生まれた場所の気温により性別が決まり、気温が29℃をこえるとメスが多く生まれることがわかっています。

地球温暖化が進み、29℃以下にならなくなるとオスが生まれにくくなり、絶めつしてしまうかもしれません。

省エネ・省資源などできることから始めて、地球温暖化が進まないようすることで、アカウミガメを守っていく必要があります。

アカウミガメ



 調べてみよう

アカウミガメの他にも、地球温暖化によって、影響を受けている生きものがいます。

影響を受けている生きものについて、調べてみましょう。

4 わたしたちにできることってなんだろう

(5) 地球温暖化による影響を考え、行動するために

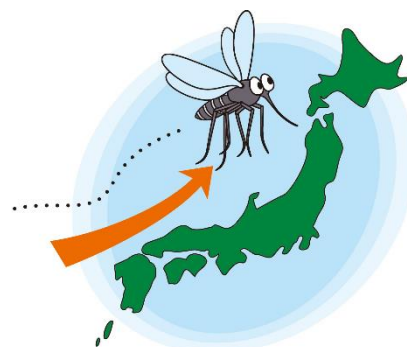
イ わたしたちや今生きている生きものを守るため、今から行動を！

地球温暖化による影響は、生きものに絶滅のおそれが生じることだけではありません。

病気の原因となる微生物を運ぶ生きものや、今まですんでいた生きものすみかをうばってしまう生きものが増える可能性があります。

デング熱やマラリアなどの感染症は病気の原因となる微生物をもつ蚊に刺されることによって発症し、熱帯地域を中心に流行していますが、地球温暖化が進むと、蚊がすむことができる場所が北上するなど温帯地域の日本でも流行する可能性が高くなります。

また、地球温暖化が進むと暑い地域を好む外来生物にとってすみやすい環境になるため、今まですんでいた生きものからすみかをうばい、広い地域にすみついて予想外の問題を起こしてしまう可能性があります。



調べてみよう

外来生物の中でも、特に人や他の生きもの、農林水産業などに影響を与える生きものを「侵略的外来種」といいます。

どのような侵略的外来種が近くにすんでいるか調べてみよう。



2100年は40℃を超える日があると言われていたのに、蚊に刺されないように長そで・長ズボンを着ないといけなくなると、暑くてたまらないね。そうならないように、地球にやさしい行動をとって地球温暖化が進まないようにしないとね。



★人と動物の健康、環境について考える「ワンヘルス」も一緒に調べてみよう♪

【福岡県ワンヘルス推進ポータルサイト】→

